

施策評価シート (平成26年度の振り返り、総括)

作成日 平成27年 04月 02日

施策 No.	4	施策名	治水対策の推進
主管課名	建設課	電話番号	0285-83-8149
関係課名	都市計画課、区画整理課、環境課、農政課、安全安心課、下水道課、長田区画整理指導室		

施策の対象	・河川と雨水幹線 ・河川流域の住民及び財産								
対象指標名	単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	26年度見込
河川数	本	8	8	8	8	8	8	8	8
雨水幹線数	本	20	20	20	22	23	23	23	23
流域面積	km2	167.21	167.21	167.21	167.21	167.21	167.21	167.34	167.21

施策の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・河川整備の促進 ・雨水幹線の整備推進 								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法(算定式など)	<ul style="list-style-type: none"> ・河川改修率と雨水幹線の整備率 「河川改修率」は、整備済延長/河川延長。 「雨水幹線の整備率」は、整備済延長/計画延長。 								
成果指標名	単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	26年度基本計画目標値
河川改修率	%	88.2	83.4	83.4	83.4	83.4	83.4	83.4	88.2
雨水幹線の整備率	%	88.3	88.3	88.4	60.1	74.8	76.2	77.9	88.9

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	<p>住民は、事業への理解と協力を努める。</p> <p>行政は、河川と雨水幹線の整備、促進に努める。</p>
-------------------------	---

26年度の
評価結果

1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）

(1) 施策成果の時系列比較（過去3年間の比較）

○河川改修率は、新たな河川改修は行われていないため、前年度同様83.4%である。

○雨水幹線の整備率は、平成24年度は74.8%、25年度は76.2%、26年度は77.9%である。

・平成24年度の整備率は、第一工業団地内の松山町浸水解消事業が進捗したことにより、前年度に対し整備率は14.7ポイント増加した。

・平成25年度整備率は、第一工業団地内の松山町浸水解消事業が進捗し、前年度に対し1.4ポイント増加した。

・平成26年度整備率は、第一工業団地内の松山町浸水解消事業の進捗及び亀山北土地区画整理地内の高間木第1雨水幹線を整備したことにより、前年度に対し1.7ポイント増加した。

(2) 近隣他市との比較

公共下水道雨水整備率は、54.4%で県内14市中1位、2位は下野市で48.1%、3位は宇都宮市で47.5%、14市平均の整備率は23.9%である。本市は、土地区画整理事業に伴う整備が進んでいるため、整備率が高いと考えられる。（平成25年度末比較）

(3) 住民期待水準との比較

市民意向調査によると「雨水のはけ具合が良いと感じている市民の割合」は平成24年度は63.3%、25年度は60.8%、26年度は60.2%であり、年々低下している。要因としては、近年、降雨量が増えつつある中、異常気象によるゲリラ豪雨等の発生により、一部において一時的に道路冠水が発生していることが影響していると考えられる。

2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括

(1) 河川改修

・市内を流れる国管理の鬼怒川の改修率は99.5%、小貝川の改修率は71.6%である。鬼怒川の今後の改修は未定であるが、小貝川については、阿部岡、三谷地区の堤防整備について、国土交通省下館河川事務所で現地測量を実施した。

・県管理の江川、行屋川、大久保川、市管理の井頭川及び西川の改修は完了している。

・県管理の五行川は、改修率は53.4%であり、大前堰から芳賀町境界まで、約5.6kmが未改修となっており、改修の時期は未定である。

・五行川二宮遊水地は、平成4年度から整備事業に着手し、右岸側A池11haの整備が平成19年度に完了し、現在は左岸側B池29haの整備を実施している。整備率は、A池100%、B池85.3%で、全体で87.3%である。

・平成32年度完成に向け、芳賀遊水地事業が栃木県により進められており、完成に至れば本市の治水が大きく改善される。

(2) 雨水幹線整備

・亀山北土地区画整理事業地内の高間木第1雨水幹線の整備が平成26年度に完了した。

・亀山北土地区画整理事業地内で、亀山北第2調整池（A池・B池）の整備を実施している。

・第1工業団地内の道路冠水解消のため、松山町第1雨水幹線整備を実施している。

(3) その他

・亀山北土地区画整理事業地内で、歩道部の透水性舗装を実施している。

3. 施策の課題認識と改革改善の方向

(1) 河川改修

- ・五行川二宮遊水地等の河川改修を促進する。
- ・小貝川沿岸の阿部岡、三谷地区の堤防整備を促進する。

(2) 雨水幹線・管渠整備

- ・雨水幹線・管渠の整備は継続して実施する。
- ・八木岡地内、江川第2雨水幹線整備を推進する。
- ・「久下田地区浸水解消事業」を推進する。

(3) その他

- ・雨水の浸透性、貯留性を備えた雨水流出抑制型施設の設置を推進する。
- ・森林、水田の自然保水機能を維持していく。

26年度の
評価結果

補足事項

○成果指標算出根拠
河川

	整備計画延長	整備延長	改修率
・平成25年度	63.4 k m	52.9 k m	83.4%
・各河川の改修率	鬼怒川：99.45%、小貝川：71.57%、五行川：53.42% 江川、行屋川、井頭川、大久保川、西川：100%		

雨水幹線

	整備計画延長	整備延長	整備率
・平成22年度	13,210m	11,672m	88.4%
・平成23年度	19,685m	11,821m	60.1%
・平成24年度	20,374m	15,234m	74.8%
・平成25年度	20,374m	15,522m	76.2%
・平成26年度	20,374m	15,880m	77.9%

公共下水道雨水整備状況

	全体計画面積	整備面積	整備率
・平成22年度	1,313.4ha	635.0ha	48.3%
・平成23年度	1,431.1ha	766.0ha	53.5%
・平成24年度	1,430.8ha	767.0ha	53.6%
・平成25年度	1,430.8ha	778.7ha	54.4%
・平成26年度	1,430.8ha	779.3ha	54.5%

過去3年間の真岡市の降水量

- ・平成24年度1,287mm/年
- ・平成25年度1,385mm/年
- ・平成26年度1,567mm/年